なぜ急ぐ…　経費節減と一体

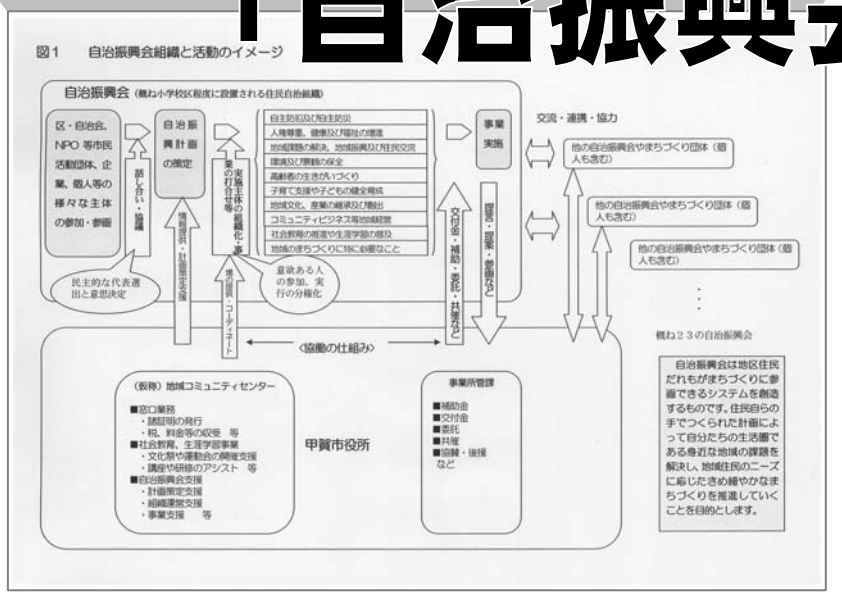
甲賀市は「地域力を高め、きめ細かいまちづくりを」と、平成23年4月からの設置を目標に、従来の区（自治会）の枠組みを超え、学区を一単位とする「自治振興会」（仮称）を設置するとしています。現在、各区長のみなさんに説明されていますが、一方で、各種補助金の削減、公共施設の見直しなどの説明もあり、「財政が厳しいから、市民に仕事を押しつけるのか」、「内容がよくわからない」など、疑問や不安の声が出ています。

仮称「自治振興会」は、公民館などを拠点に主に小学校区を一単位として、水口町に6、土山町に4、甲賀町に3、甲南町に5、信楽町に5、合計で23を想定しています。その規模は、大きなところは、36の自治会がある水口小学校区や二千世帯がある甲南の希望ヶ丘小学校区、その一方で信楽の多羅尾区など小さい規模のところもあります。

活動内容は、自主防犯や防災をはじめ人権尊重、環境、高齢者の生きがい作り、子育て支援、地域文化や産業の継承、コミュニティビジネスなど10分野にわたっています。

これらの仕事をするのに職員を2名程度配置すると言われていますが、そうなれば支所はどうなるのか。地域の協力はどの程度するのか、などの課題もあります。今年度も財政難を理由に補助金の削減や施設の見直しが行われている時、真のねらいは何なのか。「本当に必要なのか、なぜ急ぐのか」が充分理解できません。いいことであれば市民から大いに喜ばれるはずですが、自治会役員からも、戸惑いや疑問の声が多く聞かれるのも事実です。

甲賀市が提案　来年4月スタート
「自治振興会」
どうお考えですか…



地域の自主性・自治が大事
日本共産党はこう考えます

「運動会は学区単位で今までからも実施している」「区があるのにその上に振興会が必要か」などの声にあるように、上からの押し付けではなく、地域の自主性を尊重すべきです。「来年4月実施」するために、自主性を奪い強引なやり方で、コミュニティをつくっても自治は育ちません。市との信頼も損なわれます。任期切れとなる区長さんが多くおられるなか、市民に納得のいく説明が求められています。

3月議会の主な日程

新年度予算案などを審議する3月定例市議会が2月24日から開会されます。主な日程は次の通り。

２４日（水）本会議・開会
２５日（木）本会議・提案
　５日（金）本会議・質疑
　８日（月）本会議・代表
１０日（水）本会議・一般
１１日（木）本会議・一般
１２日（金）予算特別委員会
１５日（月）予算特別委員会
１６日（火）予算特別委員会
１７日（水）予算特別委員会
１８日（木）常任委員会
１９日（金）常任委員会
２４日（水）本会議・閉会

市民のみなさんから寄せられた要求のなかで、解決へむけて政府の対応がカギとなる問題に絞って10日、日本共産党湖南地区議員団が上京し、直接政府と交渉しました。（写真）

要求実現へ　政府と直接交渉

今回の要望は、地デジの新たな難視対策、鳥獣害対策、予防接種、雇用促進住宅、ＲＤ産業廃棄物問題など、６省３１項目。地デジ対策では、地域の要望に応じて実際に測定し『難視区域』を指定、対策を検討し提案、必要な財政支援も新たに検討していることを明らかにしました。鳥獣害対策では、小松議員が「捕獲・駆除一辺倒ではなく総合的な対策が必要」とレポートを政府に手渡し、施策に生かすよう求めました。雇用促進住宅問題では、廃止決定の撤回と必要な修繕を急ぐよう求めました。

日本共産党
甲賀市議団ニュース
2010年 2月21日 NO. 68

安井 直明
土山町前野541
TEL 67-0147
Fax 67-1660

小松 正人
水口町名坂128
TEL 62-9652
Fax 62-9652

山岡 光広
甲南町森尻16
TEL 86-2985
Fax 86-0415

小西喜代次
信楽町勅旨456
TEL 83-0765
Fax 83-0765